

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	最上川ふるさと総合公園	指定管理者	ふるさと公園管理運営企業体
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字山西甲1269	県担当課	村山総合支庁 建設部 西村山道路計画課 (電話番号) (0237-86-8127)
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日		
検証期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
------	--------------	------------------	--

1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

① 管理・運営業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の清掃、緑地管理については水準回数を上回って実施した。 ドッグラン登録者向けの動画を作成し、説明の仕方に不備が無いようにした。 日常の安全点検を実施し、老朽化が進む中でも危険の未然防止や長寿命化のための修繕を行った。 他団体のボランティア清掃を受け入れ、市民と共に公園の美化に努めた。 	評価	<評価の理由> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理水準に基づいた適切な管理がなされ、危機管理対応も適切である。 軽微な修繕は指定管理者自ら行っており、施設の長寿命化を図っている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加と共にマナーの低下や事件・事故が増えてきている。(ベンチへの放火。ゴミの不法投棄。車両によるベンチ破損。自分本位のクレームなど)→防犯カメラの増設、警察との連携、スタッフのクレーム対応研修。 スケートパーク利用者数データから、午前の営業について対費用効果を考慮した検討が必要。(スケートパーク利活用会議でも話題になった) センターハウス空調更新は歓迎すべきことだが、電気使用料の増加が懸念される。 	A	<課題等の原因分析> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて幅広い年代層から利用される一方、それに伴うトラブルも多岐状況にあるが、指定管理者として工夫を凝らし、適切な対応にあたっている。 人件費や光熱費が増加しているなか、現在の指定管理料・利用料収入では指定管理業務の管理運営費を賄いきれず、赤字となっている。
課題、問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 本公園及びその周辺においては、様々なイベントや環境整備が計画されており、関係者との連絡・調整を密にし、利用者の安全確保に万全を期すとともに、都市公園の一層の魅力向上を図る。 指定管理料や利用料収入の増加が見込まれないなかでは、現在のサービス水準を維持することは困難であると思われることから、サービスレベル及び維持管理水準の見直しも含めたコスト縮減対策を検討する。 		

2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 雪が少ない状況であれば、外の施設のクローズ期間を短くできないか。→パークゴルフやドッグラン等の施設は前倒しオープンを行った。 ドッグランの受付に時間がかかる。→ホームページに新規登録者用の入力フォームを設け、時間短縮を図った。 公園内のトイレに子供用トイレを設置してほしい。→補助便座を設置した。 公園利用者からのご意見について、掲示板へ回答表示をした。 	評価	<評価の理由> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業に関しては、工夫を凝らした様々な地域密着型のイベントを企画・実施し、公園利用者のサービス向上を図っている。 利用者の要望について、指定管理者が対応できる範囲においては適切に対応している。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも利用者からの意見・要望を把握し、迅速且つ適切な対応に努める。 要望に対応したものについては、要望者の反応や効果についても検証を行う。 		

3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 公園のHPに施設利用状況カレンダーを掲載し、イベントや開催教室がわかるようにした。 利用者向けに、SNSで園内の情報発信を行い、花緑の状況がわかるようにした。→フォロー数が増加している。 センターハウス空調更新工事で研修室が利用できない期間は、居室事業が途切れないように他施設を提供した。 サイボウズOfficeを導入した結果、業務の効率化が進み、利用者へのサービスに費やす時間が増加した。 センターハウス内にフラワースタンドを導入し、通年で花を楽しんでもらった。 公園で採取した朝顔の種を無料配布した。 チューリップ千本を新たに植栽し、春の花の見どころとした。 	評価	<評価の理由> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業に関しては、工夫を凝らした様々な地域密着型のイベントを企画・実施し、公園利用者のサービス向上を図っている。特に、維持管理水準にない色彩豊かな花緑の植栽・展示を積極的に実施していることで、公園全体のイメージ向上に大きく寄与している。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> 企業が作製したコンポストを設置し、肥料代の削減を行った。 館内に展示している花を種から育て、花の購入費を抑えている。 企業体構成会社から社員を派遣してもらい、修理や点検を迅速に行うことで経費を削減した。 	評価	<評価の理由> <ul style="list-style-type: none"> 光熱費の高騰などが経費を逼迫させるなか、軽微な維持修繕を自ら行うなど経費の節減に努めている。 維持管理水準の見直しなど更なるコスト縮減対策の検討が必要である。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> 冬期以外の毎日のトイレ清掃を地元シルバー人材センターに委託した。 地元中学校と連携し公園の美化に努めたり、職場体験を受け入れた。 地域と連携し、10以上の新規自主事業を企画運営し、多くの参加者に喜ばれた。 地域おこし協力隊監修の寒河江産イチゴを使用したパフェを提供し、地元PRに貢献した。 手織り教室の講師と共催で作品の展示販売会を行った。→売上は、ユニセフを通して、トルコ・シリア地震(2023.2)の支援金として全額寄付した。 	評価	<評価の理由> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業だけでなく当公園を利用して開催される各種イベントにも積極的に協力し、公園の利活用を促進するとともに地域活性化を図っている。

総合的な評価	施設の管理運営業務に関しては、維持管理水準に基づいた概ね適切な管理がなされ、危機管理対応も迅速で適切である。また、様々な工夫を凝らした自主事業等を実施するなど、利用者のサービス向上に努め、都市公園の魅力向上や地域の活性化にも貢献している。 一方、令和5年度は指定管理業務としては赤字となり、現在の指定管理料・利用料収入では維持管理水準を保てないことから、更なるコスト縮減対策の検討が必要である。
---------------	--

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注1) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。

注2) 県(施設所管課)による評価・検証については、具体的な事例や数値により、評価した点を分かりやすく記載すること。